



廿日市市立佐伯中学校 令和7年度

## 【自律】学校だより

ホームページ <http://www.hatsukaichi-edu.jp/saiki-j/>

学校教育目標:「夢や目標に挑戦し、自己実現を図る生徒の育成」

11月号 (No.22)

令和7年

11月10日(月)

## VOICE 2025大会

11月1日(土)、はつかいち文化ホールウッドワンさくらぴあ大ホールにて、廿日市市内の小中学校児童・生徒25名による意見発表会が実施されました。課題は「わたしの思いがく未来」で、佐伯中学校からは岡裕次郎さんが出場し「みんなが笑って過ごせる未来」をスピーチしました。

生徒会長になって取り組んでいることを中心に話しました。佐伯中の生徒全員が学校生活を楽しく過ごせることを意識したイベントのことや、いじめのない学校になるための取組も紹介しました。そして佐伯や吉和地域の大人に向けて中学生の代表としてイベントの実施を呼びかけたこと、それを大人たちが聞き届けてくれて、実施してくれることの感謝を述べていました。最後に、自分自身が大人になった時、地域の子どもたちのために活動したいと結びました。(右の写真は、文化祭での生徒会長挨拶の様子です。)



岡さんのスピーチは、奨励賞を受賞しました。おめでとうございます。佐伯地域のことを心から愛している気持ちが、自分の言葉として表現されていてよかったです。

## 落語鑑賞（古典の日）

11月4日(火)にPTA主催の教育講演会として昨年度に引き続き落語を鑑賞しました。生徒の皆さんにとっては、先日の「トキワ荘の夏」に続いて普段の生活では味わえない、体験となったのではないでしょうか。ちょうど11月1日(土)が「古典の日」でしたので、日本の伝統的な芸の一つである落語に親しむこともでき、今後の皆さん的人生に少しでも良い影響があればと思います。

今年は、特別ゲストととして、佐伯中1年生の長岡橙子さんにも登壇してもらいました。長岡さんは、師匠の「牛乃家べこまる」さんに師事し、「牛乃家橙楽」という芸名で、8月にフジタスクエアまるくる大野で初高座を経験しています。橙楽さんは「ねこの皿」を披露してくれました。全校生徒の



前で緊張したと思いますが、スラスラと演じていました。次の高座の依頼も来ているそうなので、さらに芸を磨いてください。



～生徒の感想から～

今日、落語を聞きました！とても面白かったです。最初は、長岡とうこちゃんが落語をして、とても面白かったし、全部覚えていてすごかったです。次は、（秋風亭）てい朝さんで、答案用紙の話が面白かったです。また、落語聞きたいなと思いました！（1年生）

去年も同じようなことをしたと思いますが、2回目でもとてもおもしろく鑑賞することができました。ちょっとした言葉だけなのに、いろいろな意味を感じることができたので、面白いし、学ぶことがたくさんあったと思いました。秋風亭てい朝さんのように知識をたくさん身に付けて言葉を理解できるようにしたいです。（2年生）

今日の落語を鑑賞して、とてもすごいと思いました。最初の1年生の長岡さんの落語は、初めてから1年しか経っていないのにとてもしっかりしていて、めっちゃすごくてびっくりしました。そのあとの秋風亭てい朝さんの落語はとてもおもしろかったです。今日披露した「親の顔」は最初からとてもおもしろくずっとクスクス笑っていました。落語ではせんすと手ぬぐいしか使わずに、いろんなことを表現できることを知りびっくりました。せんすだけでそばを食べたり、刀を表現したりするのを見ました。その時本当にそばがあるように見えたり、たった20cmのせんすが長い刀に見えたりして落語って本当にすごいなと思いました。昨年に続いて2年連続で佐伯中学校に来てくださいってとても嬉しかったです。（3年生）

去年も来てくださいましたが、去年とは違う落語でとてもおもしろく楽しかったです。テストのお話でしたので、私たちの身近なことだったのでとても理解しやすかったし、想像しやすかったです。せんす1本で表現していて、相手にどう見えるかを確認しながら練習しないといけないと思いました。落語はなかなか見る機会がないので、また近くで見ることができてとても嬉しかったです。（3年生）